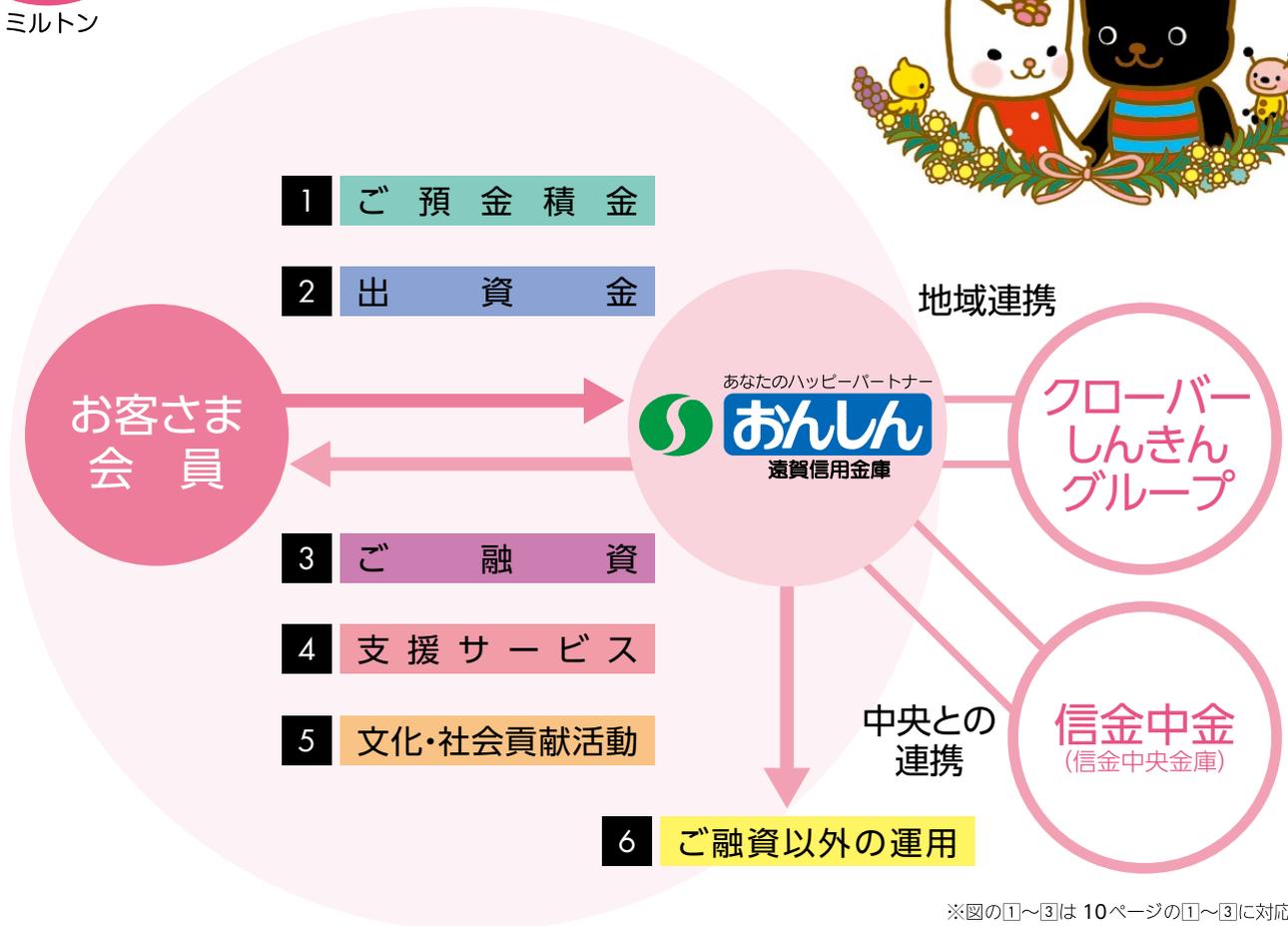




おんしんと地域社会



ミルトン



※図の①～③は 10ページの①～③に対応します。

信用金庫・信金中央金庫とおんしんについて

信用金庫は銀行とほぼ同じ業務を行っていますが、銀行のように株式会社ではなく、より密着したサービスを行うため営業地域が定められ、会員の皆さまからの出資金を元手とした地元のための協同組織金融機関です。皆さまからお預りした大切なご資金(預金や積金)は、地元で資金を必要とする皆さまへご融資として事業や生活繁栄のお手伝いをするとともに、地域の一員として、中小企業者や住民の皆さまと強い絆で結ばれたネットワークを形成して地域経済の発展に努めております。

信金中央金庫(信金中金)は、全国の信用金庫の出資により設立された信用金庫の中央金融機関です。全国の信用金庫から預け入れられた資金と、金融債を発行して調達した資金を、有価証券や短期金融市場、さらには国・地方公共団体、事業会社等への貸出やPFI事業への取組み等によって運用し、その成果を種々の形で信用金庫業界に還元しています。

また、為替・資金の集中決済や信用金庫の業務機能の補完を行うほか、業界のセーフティーネットを運営することにより、業界の信用力の維持・向上に努めています。

経営方針に掲げたように「お客さまの役に立つ金融機関」「お客さまから選ばれる金融機関」「地域のベスト金融機関」を目指して、おんしんは金融機能のみにとどまらず、文化、環境、教育なども視野に入れて、地域社会の活性化に積極的に取り組んでまいります。

P3「経営理念」「経営方針」「行動指針」をご覧ください。

おんしんの営業地域

昭和24年に遠賀郡水巻町で産声を上げたおんしんは、北九州市八幡西区から福岡市東区・糟屋郡粕屋町までJR鹿児島本線と国道3号線の沿線にエリアを広げて営業しており、15の店舗で皆さまをお待ちしています。

定款で定められたおんしんの営業地域は、15の店舗周辺地域はもとより、「クローバーしんきんグループ」(遠賀、飯塚、田川、福岡)の総合力を発揮して、良質かつ高度な金融サービスを提供し、県内他金庫との協調融資等の案件にも柔軟に応ずべく、平成24年7月3日に認可を受け『福岡県内一円』といたしております。

おんしんの役職員は店舗周辺地域内に居住し、公私ともに皆さまと密接にお付き合いをさせていただいております。

P19・20「店舗紹介」をご覧ください。

地域と共に生きる“おんしん”です

1 ご預金積金(地域からの資金調達)

平成31年3月末の預金積金残高は215,643百万円で、地域の皆さまからの預金により資金を調達しています。一般個人、事業法人のほか、地方公共団体からの預金もお預りしています。おんしんは、水巻町、遠賀町の指定金融機関も務めています。

🔍 P13「預金業務」およびP22「貸借対照表」をご覧ください。

2 出資金

個人会員14,409名、法人会員3,226社で出資総額は206百万円ですが、これに過去からの営業努力による積立金などが加わり、会員勘定は20,827百万円という厚さです。順調な業績を背景に平成19年3月期から年8%の配当とさせていただいております。

🔍 P5「出資、会員」P7・8「総代会」P22「会員勘定」をご覧ください。

3 ご融資(地域への資金供給)

平成31年3月末の融資残高は126,056百万円となりました。「地元経済に対する貢献度の目安」といわれる預貸率は58.45%となっており、業界平均を上回る水準で、地域の皆さまへ安定した資金を供給しています。また、信金中央金庫などによる代理貸付の残高である債務保証は、641百万円となっています。

🔍 P13「貸出金業務」P28.29「貸出金等資料」、「預貸率」をご覧ください。

地域密着型金融推進項目とその進捗状況(平成30年度)

項目	具体的な施策	平成30年4月～平成31年3月の実績
1. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
地域共生店舗の展開	どなたでも気兼ねなく使えるトイレ、地域の皆様の作品を展示できるギャラリー、休日も稼働する貸金庫、「暮らしのおんしんコーナー」(何でも相談コーナー)の設置など、気楽にお立ち寄り頂き皆様のふれあいの場となる店舗作りを努めます。	「暮らしのおんしんコーナー」では、多数のご相談をお受けいたしました。
事業活動への支援・多彩な資金ニーズへの対応	地域の企業活動や事業継承を支援するため、企業の資金需要や各種の相談にきめ細かく応じてまいります。また、地域の個人の皆様の資金需要にも対応し、幅広い資金ニーズに応えられるよう消費者ローンの態勢を強化します。	職域サポート契約は、平成31年3月末日時点において1,945先の事業所と契約締結させていただいており、職域専用の「職域サポートローンきずな」は、438件、521百万円のご利用をいただいております。
音楽会、講演会、旅行等の企画	「マナー研修会」、「おんしん講演会」、「おんしんふれあい旅行」など、地域の方々が集い楽しんでいただける行事を企画いたします。	「マナー研修会」に158名の方に参加いただきました。「おんしん講演会」に約1,600名をお招きいたしました。「おんしんふれあい旅行」に222名の方に参加いただきました。
特色のある商品の提供	おんしんコミュニティのお客さまへ日頃の感謝の気持ちを込めて、夢の実現を応援する特別金利商品「夢のカタチを創造する『ドリーム』」を発売しました。	おんしんコミュニティ応援ファンド「夢のカタチを創造するドリーム」は、241件1,713百万円をご融資させていただきました。
金庫経営の安定性強化	地域経済へ持続的に貢献するため、金庫の財務の健全性、経営の安定性に更に努めます。今後とも2桁の自己資本比率を維持します。	平成30年度の自己資本比率は14.06%となり、国内基準の4%を大きく上回っています。
2. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援		
企業再生・経営改善活動の推進	経営的な困難に直面している企業を重点取組み先として選定し、事業支援に取組みます。	各店1先を重点企業支援先として選定し、支援取組みしております。
創業・新事業支援の継続	地域企業の新規事業について息長く支援していきます。	創業融資として32件118百万円を取組みました。
事業継承支援活動	企業経営者の高齢化により、事業の円滑な継承が地域の経済にとって重要な課題となっています。法務、税務等の専門家と連携し、引き続き支援活動に取組みます。	
不良債権比率の改善	企業支援、債権管理の充実により、不良債権に積極的に取組み、引き続き不良債権比率の改善に努めます。	平成30年度は、不良債権比率は4.48%と、前年度より0.56%増加しました。
3. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進	事業性評価に基づく融資等を積極的に推進します。	信金中央金庫との提携による動産担保融資の取扱いを行っています。
新形態の融資の推進	実績のあるシンジケートローン・ノンリコースローンをお客さまのニーズに合わせて取組みます。	



中小企業の経営の改善及び地域の活性化

コロちゃん

中小企業の経営支援に関する取組方針・体制整備

中小企業円滑化法は、平成25年3月末日に適用期限が終了しましたが、当金庫の地域金融円滑化のための基本方針は従来と何ら変更はありません。

当金庫はコンサルティング機能強化のため、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」としての公的な認定を取得しました。また、福岡県中小企業診断士協会など外部専門機関との連携も積極的に行っております。

今後も、お取引先の立場に立って経営課題に応じた最適な解決策の提案など、経営改善の支援に努めてまいります。

これまで同様、当金庫の本支店窓口にお気軽にご相談ください。

中小企業の経営支援に関する取組状況

本部支援部署と営業店との連携のもと、お取引先に対して情報提供や財務面でのアドバイス、各種経営相談に応じています。また、緊急に経営改善を要すると考えられるお取引先(14先)をリストアップし、返済負担の軽減に対応するほか経営改善計画の策定支援や外部コンサルタントとの連携、新規取引先の紹介などを行いました。

(1) 創業支援・新規開拓支援

創業資金として32件118百万円を取組みました。

(2) 成長段階における支援

日本政策金融公庫との提携による農業分野向け融資の取扱いを開始しました。

(3) 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

緊急に経営改善を要すると考えられるお取引先(14先)に対して、重点的に経営改善支援を行いました。

■経営改善支援の取組実績(平成30年4月から平成31年3月)

(単位:先数、%)

	期初 債務者数	経営改善支援 取組先数	債務者区分が ランクアップした 先数	債務者区分が 変化しなかった 先数	債務者区分が 再生計画を 策定した先数	経営改善 支援 取組率	ランクアップ 率	再生計画 策定率
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先	3,452	3		3	2	0.09		66.67
要 注意先	その他要注意先	339	0	8	6	2.65	0.00	66.67
	要管理先	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
破綻懸念先	43	2	0	2	1	3.77	0.00	50.00
実質破綻先	56	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
破綻先	27	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
合計	3,917	14	0	13	9	0.36	0.00	64.29

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

	30年度
新規に無保証で融資した件数	46件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	2.76%
保証契約を解除した件数	26件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	0件



のための取組み状況

地域の活性化のための取組み状況

本部の業務推進部内に地域貢献課を置き、様々な地域活性化に向けた取組みに参加しております。

① おんが創業支援協議会の活動について

平成27年2月12日、当金庫は、遠賀郡4町、遠賀郡4商工会および日本政策金融公庫八幡支店と「おんが創業支援協議会」を発足させ、官民一体となったワンストップの創業支援体制を整備しました。

4つの町が協力することで、より多くの創業場所の選択肢を提供できるとともに、地域以外の創業希望者に対してもおんが地域での創業のメリットを広くアピールすることが出来ると考えています。



② おんしん未来創世塾

「おんしん未来創世塾」は地域事業者の組織化を通じた若手の経営者個々の育成ならびに当金庫渉外職員の能力向上を目指すとともに、他事業者と当金庫の交流も深め、取引強化をはかることを目的として、平成25年度に発足しました。以来6期にわたり192名の修了生を輩出しております。平成31年3月に、修了生を主体とした新しい修了生の会「おんしん未来創世塾」を発足しました。今後も修了生との合流の場(セミナー、交流会)などを設定し、さらなる組織化につなげていきます。



③ 大学との「包括的地域連携に関する協定」の提携について

平成30年12月に、北九州市にキャンパスを構える九州共立大学および九州国際大学と「包括的地域連携に関する協定」をそれぞれ締結しました。地域の活性化、地域振興、人材育成などを目的としたもので、今後、共同での地域行事の開催や、当金庫のお取引先企業へ両大学の学生を「社長秘書」として派遣する短期インターンシップ事業などを計画しています。連携活動により、ますます地域を盛り上げていきたいと思っております。今後の活動にご期待ください。

